

## 5. 整備の方法と留意点に関する情報

### 5.1. 無電柱化と一体となった整備事例

#### (1) 北海道札幌市での整備事例

##### 1) 取組の概要

国土交通省札幌開発建設部は「道路の防災性の向上」、「安全で快適な通行空間の確保」、「良好な景観や観光振興」を図ることを目的として、無電柱化事業を進めている。

札幌駅東側に位置する国道5号は、札幌市バリアフリー基本構想の重点整備地区「都心地区」の生活関連経路に位置づけられている。電線共同溝事業により無電柱化を図るとともに、歩道の段差解消や視覚障害者誘導用ブロック敷設などのユニバーサルデザイン化整備についても実施した。



国土地理院Webデータを加工して使用

出典：国土交通省北海道開発局プレスリリース資料（H28.7.21）より作成  
 ※平成27年度末時点の無電柱化整備状況

図 5-1 札幌市内の国道における無電柱化整備状況



図 5-2 整備前後の状況

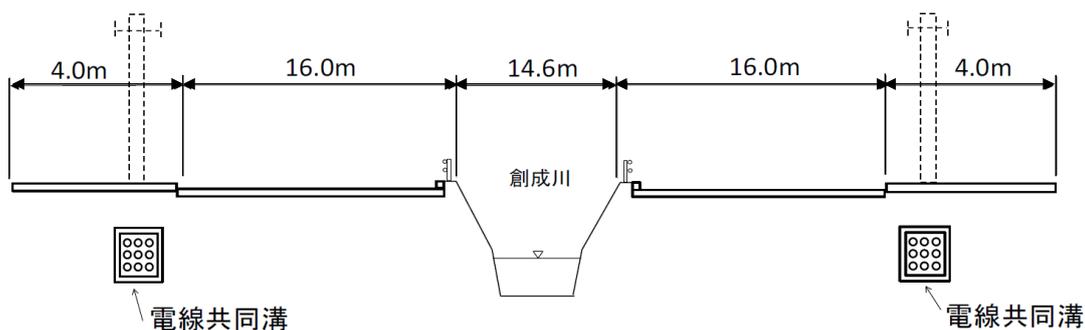


図 5-3 標準断面図

出典：国土交通省資料

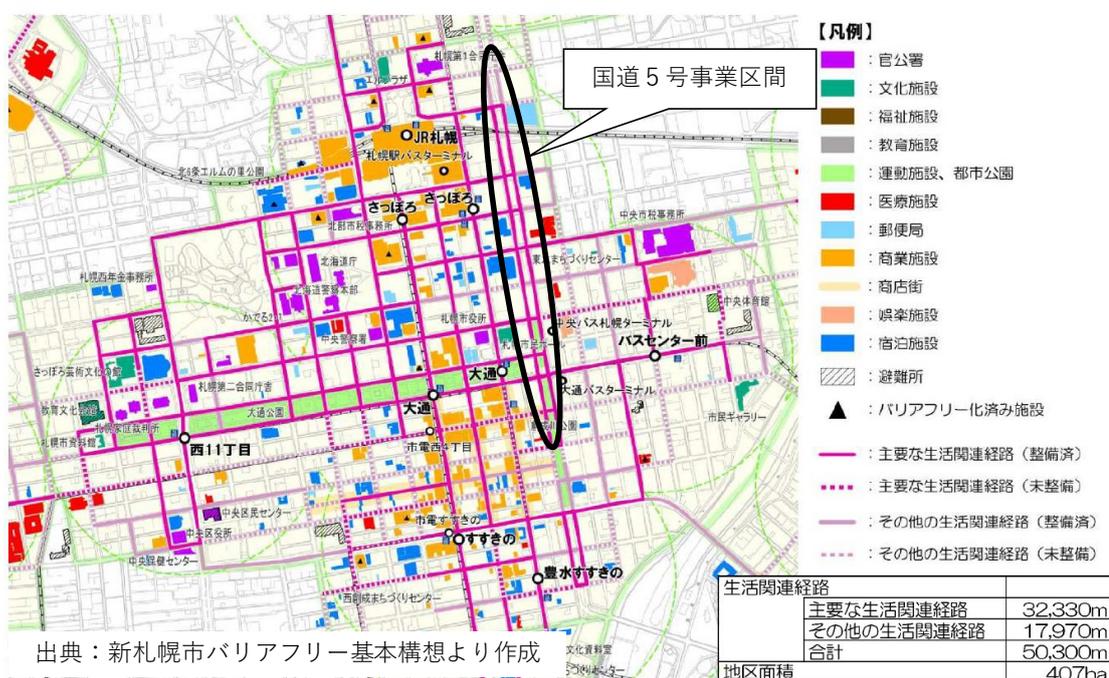


図 5-4 国道 5 号のバリアフリー基本構想への位置付け

2) 効果

a) 防災面

第一次緊急輸送道路にも指定されている国道 5 号について、災害時における円滑な通行空間の確保への寄与が期待される。

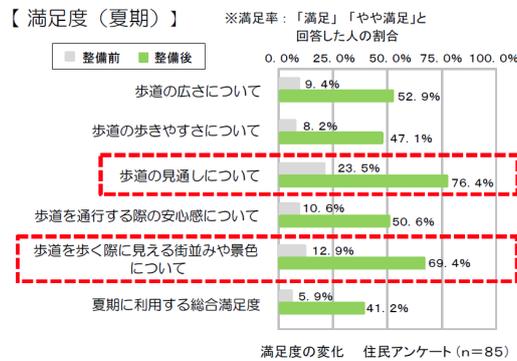


図 5-5 整備区間周辺の緊急輸送道路の状況

b) その他効果

住民のアンケート結果では、整備前後での満足率（「満足」「やや満足」と回答した人の割合）が、歩道の見通しについては約 53 ポイント、歩道を歩く際に見える町並みや景色については、約 57 ポイント高くなった。

消防署員へのアンケートでは、消防活動の際の円滑性（梯子車を早めにかけてもらえる）などの効果を感じているという声も確認されている。



《道路利用者の声》（※札幌開発建設部アンケート）

- ★電柱が減ったことで、歩道～車道が見通し良く綺麗になったように感じます。（歩行者アンケート）
- ★創成川イースト地区では居住人口が増加している状況であり、創成川西部からの人の流れとも相まって、地域の活性化がよいイメージで進んでいる。（まちづくりセンター）
- ★梯子車を早めに掛けられることによって、消防隊が屋内階段を使わなくても、直接災害地点に到達することができるというメリットがある。（消防署員アンケート）

出典：国土交通省資料より作成

図 5-6 道路利用者へのアンケート結果